

大学職員の業務に新たな視点を取り入れる ～海外の高等教育に関する論稿紹介を通じて～

Short-term study tours as a driver for increasing domestic student mobility in order to generate global work-ready students and cultural exchange in Asia Pacific

(発表者) 東北学院大学 総務部総務課 水野麻美

著者紹介

■論文タイトル

Short-term study tours as a driver for increasing domestic student mobility in order to generate global work-ready students and cultural exchange in Asia Pacific

■著者

Lisa Scharoun

(経歴等)執筆時 : Assistant Professor of Graphic Design, University of Canberra

現在 : Professor of Creative Industries, Education & Social Justice,

Queensland University of Technology

論文紹介

- Lisa Scharoun (2016) Short-term study tours as a driver for increasing domestic student mobility in order to generate global work-ready students and cultural exchange in Asia Pacific, Perspectives: Policy and Practice in Higher Education, 20:2-3, 83-89,

- 論文対象国: オーストラリア

- テーマ: 異文化交流

- リサーチクエスション: 短期留学の可能性、意義とは何か

日本の高等教育との相違

■オーストラリア政府の国際化政策

- ・経済戦略としての留学生政策
- ・アジア太平洋地域での短期留学促進

■オーストラリアの留学生政策

第一段階 (aid approach) 1940年代～1980年代

第二段階 (rapid recruitment of inter-national students) 1990年～2000年

第三段階 (third phase in which the focus has shifted) 現在

第四段階 「知識経済 (knowledge economy)」

コロンボプラン 1951年～1980年

新コロンボプラン 2014年

→オーストラリアの若者とアジア太平洋地域の若者の交流を通じた国の生産性と繁栄を高めることが目的

日本と異なる視点

■留学先

イギリス:ヨーロッパ(70%)、アメリカ(25%)

オーストラリア:ヨーロッパ(47%)、アメリカ(36%)

アメリカ:ヨーロッパ(55%)、アメリカ大陸(15%)

■コンフォートゾーン: 似通った文化の国への留学

■大学卒業時に獲得しておくべきスキル

- ・オーストラリア政府は大学に対し、「卒業生の雇用適性スキルの向上」を求めている
- ・強力な異文化コミュニケーションを備えた即戦力の卒業生を生み出すことが必要である。
- ・異文化対応能力

日本の教育にもたらす新たな視点

- オーストラリアは250以上の多民族が融合した国であり、高等教育を修了した学生がどの分野に進むとしても異文化交流の経験が活かされる。
- グローバル化が進み、多文化チームで働くための能力が必須である
- 留学経験で獲得される「CQスキル」と「ソフトスキル」
- 大学の収入(経済的)という視点から、学生の移動による多文化理解と国の繁栄という考え方へのシフト

キャンベラ大学の事例から

■ キャンベラ大学のグラフィックデザイン学科で資金獲得(2012～2015)により、留学の機会を広く提供

※AsiaBound、ニューコロンボプラン(NCP)

- ・短期留学プログラムが確立されていない学科の学生
- ・経済的に余裕のない学生
- ・NCPにより85名の学生が海外渡航(上海、香港、シンガポール、日本)

■ Inspired by Singapore

- ・学部主導のShort-term tour
- ・海外渡航歴のないIndustrial Designの学生20名が参加、初のシンガポール渡航
- ・異文化的デザイン理解、複数分野に関わる知識、デザインのイノベーションを起こす力の育成

参加した学生のコメント

- On the trip to Singapore I was taken out of my comfort zone and given a chance to see all types of design in another country. The whole trip rejuvenated my love for Design and I have a ton of new ideas for future work.

コンフォートゾーンから引き離される経験をする事ができた。デザインに対する情熱を取り戻した。

- I learnt about cultural differences and how society differed on many levels such as how hard working the people were compared to here in Aussie. It was really an opportunity to travel to a new place while being absorbed into the different, creative and inspiring aspects.

様々な点で社会が異なることを学んだ。

- The Singapore trip gave me a firsthand experience and insight into different cultures, customs and beliefs that enabled me to identify the similarities, differences and connections with my own Australian culture.

異文化を経験したことで自国の文化を客観視できるようになった。

リサーチアンサー

■高等教育において不可欠である

- ・コミュニケーション能力、CQスキルの向上

■短期留学のメリット

- ・短期留学の限界があるのではないかな？

→ 自国と大きく異なる文化圏での短期留学は多文化的職場環境で、より効率よく働くスキルを身に付けることができる。

→ 一定期間(学期)海外に滞在することが不可能な学生にとって有益なチャンスである

■短期留学を有効な手段とするために

- ・訪問先の学生、自分の専門に関する業界の専門家と異なる言語を通じた共同作業の機会を提供するとよい
- ・短期留学による渡航者が増えることで長期留学の可能性もある。

■オーストラリア国民の適応力、コミュニケーション力の向上創出

高等教育機関を卒業し、多文化共生社会でビジネスに携わるうえでのスキルは海外の文化を経験して学び、適応能力が獲得される。特に、多民族国家であるオーストラリアでは異文化コミュニケーションを獲得した卒業生の育成が必須であるため、短期留学であっても成果がある。

ご清聴ありがとうございました